



「コロナ禍の世界・ コロナ禍後の世界」

昨年度、『大学創立70周年記念講演会・シンポジウム「災害の過去・現在・未来——天災と疫病と」』というテーマで
コロナ感染に関する講演会・シンポジウムを開催しましたが、コロナ禍は今年も引き続き世界を席卷しており、
未だに収束の気配すらありません。

しかもコロナ禍で昨今大きな問題となっているのは、Facebook、Twitter、Instagramなどのいわゆる
SNSにおける不正確な情報の拡散です。中には明らかなデマも見受けられます。

そこで本講演会・シンポジウムでは、現状の正しい認識と適切な情報の入手、発信といったことに伴う
様々な問題について、専門家の講演会を開催します。

併せて本学教員を交えたシンポジウムにおいて、コロナ禍、コロナ禍後の社会生活はどうあるべきかについて、
過去の同様の事例も含めて検討します。



2021年

日時

10月16日(土)
13:00 (※受付開始 12:15)

会場

別府大学メディア教育・研究センター4F
メディアホール
大分県別府市北石垣82

お断り 新型コロナウイルス感染の感染状況によっては、
一般の方の来場をお断りする場合があります。

一般の方の来場の可否については10月13日までに大学ホーム
ページにてお知らせいたします。

来場可となった場合、入場の際には、以下のようにさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 検温を実施し、37度5分以上ある方は入場をお断りさせていただきます。
2. 手指の消毒をお願いします。
3. 連絡先(氏名及び電話番号)のご記入をお願いします。(お預かりした個人情報は、保健所等公的機関による感染経路調査のために提供を求められた場合を除き他の目的には使用せず、個人情報保護法等に基づき厳重に管理します)
4. メイン会場の定員を80名とさせていただきます、もしそれを超えた場合は、他会場でのビデオ視聴をお願いいたします。
5. 「3密」回避のため場内では所定の席にご着席ください。また、マスク着用のうえ、他の来場者とのソーシャル・ディスタンスにご留意ください。

I 講演会 (13:10~14:10)

「コロナ禍の安全・安心を支えるNHKの役割」

高橋 善行 氏 (日本放送協会 大分放送局長)

高橋 善行 (たかはし よしゆき) 氏略歴

1965年生まれ、東京都出身。芝浦工業大学工学部卒。1988年に放送技術者として日本放送協会入局。秋田局に赴任し、番組制作技術の基礎を習得。アジア競技大会中継担当として北京に派遣。1992年に放送センター放送技術局・報道技術センターに異動し、「おはよう日本」「ニュース7」などのニュース情報番組が専門となる。TDスイッチャーと呼ばれる技術責任者を15年担当し、米同時多発テロ事件やトリノ冬季五輪現地派遣などに対応。管理職昇進後は静岡局副部長、仙台局技術部長、報道技術センター長として災害報道に関するマネジメントに尽力。2019年より現職。

II シンポジウム (14:25~)

高橋 善行 氏 (日本放送協会大分放送局長)

高木 伸幸 (日本語・日本文学専攻 教授)

「日本近代文学に描かれた病」

福西 大輔 (史学・文化財学専攻 准教授)

「疫病と人神信仰 一源為朝、加藤清正、増田敬太郎を中心に」

矢島 潤平 (臨床心理学専攻 教授)

「コロナ禍でのメンタルヘルス支援」

大坪 素秋 (食物栄養学専攻 教授)

「食と健康についての知識」

入場
無料

お問い合わせ

食物栄養科学部 事務室
担当: 野崎

電話 0977-66-9630
FAX 0977-66-9631

別府大学

検索

